

## 虐待対応専門職チームの活用に関する意見交換会報告

高齢者虐待対応委員会 富田久代

日時 2016年6月2日13時～15時 場所 兵庫県弁護士会分館

兵庫県、神戸市、姫路市、豊岡市、西脇市、播磨町、稲美町の行政職と虐待対応専門職チーム弁護士5名、社会福祉士10名の参加のもと意見交換等を行った。兵庫県や各市町からチームの活用状況の説明があり、活用が進まない理由や課題についていろいろな意見とともに以下の提案がなされた。

- ① 専門職チームの窓口の明確化
- ② 専門職チームの活用がイメージできるチラシの作成
- ③ 専門職チームを活用した事例の行政職員向けの研修会の実施（管理職の参加を促す）

提案①の窓口の明確化は兵庫県弁護士会分館を窓口とすることを検討することとした。

提案②の活用がイメージできるチラシについては「虐待対応専門職チームがあなたの自治体に協力します。」をキャッチフレーズに、事例検討、研修、マニュアル作成などの依頼も可能という内容を盛り込み、専門職チーム活用までの流れを明示し、依頼関係様式を統一化したものを検討することとした。

③についても同様今後検討することとした。

兵庫県や契約各市町と虐待対応専門職チームの初めての意見交換会であったが、「専門職チームは敷居が高い」など忌憚りの無い意見が出る中で行政が活用に向けて一歩前進したように感じた。高齢者虐待防止法が施行されて11年目であるが「さあこれから」と始まったばかり感がある。私は専門職チームの一員として「自分らしく安心して暮らす高齢者の権利擁護」を目指す行政の一助となれるように頑張りたい。

\*\*\*\*\*

## 「2016年度 高齢者虐待対応研修〈認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修〉」終了

4月から4回にわたり行われた「高齢者虐待対応研修」が8月27日に最終回を終え、33人の方が修了されました。受講生のお一人に感想を伺いました。



高齢者虐待対応の研修が4月から8月にかけて4回あり受講しました。

研修で気づいたこととして、自分には虐待をしているつもりが無くても相手が知らず知らずのうちに虐待を受けている可能性があると言う事を学びました。この事を念頭に置き、常に虐待をしていないかと自分や相手への振り返りを行い援助していきたいです。

漠然と理解している虐待について、細かな対応を含めて理解することができ、今後の業務に活かしていきたいと思えます。医療機関に従事する者として施設職員や包括の方の声を聴くことが出来てお互いの業務についての確認、把握ができてとても参考になりました。内容の充実した研修会に参加できて良かったです。（神戸ブロック 富山恭子）

## ◆「平成 28 年度障害者虐待対応力向上研修」のお知らせ

家族や障害福祉サービス事業所従事者等による障害者虐待件数が年々増加傾向にある状況を踏まえ、障害者が住み慣れた環境で安心して生活できるよう、障害者虐待の対応窓口である行政の担当職員や障害福祉サービス事業所従事者等の資質向上に資する研修を行うことにより、虐待の早期発見や予防推進を図るために開催します。

受講者の職域に関わらず、A研修〈午前〉(法律・制度を理解するための講義)とB研修〈午後〉(事例を挙げて具体的な対応方法を学ぶ演習)を通して受講されることをおすすめします。

同じ講義内容を県下5か所[各会場定員 100 名・無料]で実施します。

開催日		会場情報
12月18日	日	兵庫県福祉センター 多目的ホール
1月19日	木	西宮市民会館 101号室
2月8日	水	兵庫県姫路勤労会館 多目的ホール
2月14日	火	兵庫県立のじぎく会館 大ホール
3月28日	火	兵庫県立但馬長寿の郷 第3・第4研修室

\*詳細はこのとり通信秋号別冊p28を参照してください。

### ◆A研修

時間：受付 9:15 開講 9:40 終講 12:00  
 内容：法律・虐待対応の基礎を学ぶ講義  
 『障害者虐待防止法について(60分)』  
 『虐待発生メカニズム等(60分)』

### ◆B研修

時間：受付 12:40 開講 13:00 終講 16:20  
 内容：「障害福祉サービス事業所従事者による虐待事例に関するグループワーク(180分)」

## おすすめBook

### 『ラッキーウーマン マイナスこそプラスの種!』

竹中ナミ著/飛鳥新社  
(2003.5) 1404円



筆者は重度心身障害の娘を授かり、娘の存在は筆者にさまざまな目線や考え方、発想法を与え続け、娘は「差し障りがあって害がある」存在ではないと、筆者の飾らない言葉で熱く語られています。チャレンジド(障害者)が、誇りをもって働ける社会を目指し、身の丈に合った働き方で支え合って暮らす社会の「モデル」を作ることを実践しているノンフィクション。一気に読めて、元気をもらう本です。(推薦者 植田 京子)

### 竹中 ナミ (タケナカ ナミ)

昭和23年、神戸市生まれ。神戸市立本山中学校卒業。16歳で結婚。24歳のとき、重症心身障害児の長女を授かったことから、療育のかたわら障害児医療・福祉・教育を独学する。また、手話通訳、身体障害者施設での介護、おもちゃライブラリーの運営など、ボランティア活動に長く関わる。平成元年、障害者の自立を支援する組織「メインストリーム協会」を設立、事務局長に。平成3年、就労支援活動「プロップ・ステーション」を創設。「チャレンジド(障害者)を納税者にできる日本!」をスローガンに活動を開始。翌年大阪に事務局を移し、パソコンの技術指導、在宅ワークのコーディネートなどを行う。

## 高齢者虐待対応委員会の動き (2016年6月 ~ 2016年8月)

日付	活動内容
【講師派遣】	
6月11日	精神保健ボランティア研修(神戸)
6月17日	神戸市あんしんすこやかセンター職員研修
7月28日	姫路市地域包括支援センター連絡会研修
8月25日	神戸市中央区訪問介護事業所連絡会研修
【専門職チーム派遣】	
6月30日	西脇市
7月15日	丹波市
7月29日	豊岡市
8月10日	神戸市
【弁護士会とのワーキング】	
6月2日	契約市町との懇談会
8月4日	県委託事業の打ち合わせ
【委員会内研修・委員受講外部研修・実施研修】	
6月14日	養介護施設従事者等による高齢者虐待対応研修
7月27日	高齢者虐待対応力向上研修(県福祉センター)
8月3日	高齢者虐待対応力向上研修(朝来市ジュピターホール)
8月25日	高齢者虐待対応力向上研修(龍野商工会議所)
【相談員派遣】	
毎月	兵庫県弁護士会主催
第1・3・5 火・木曜日	「高齢者・障害者のための弁護士 電話法律相談」